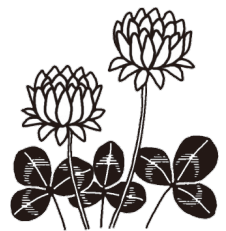




2020年5月
第701号

日本基督教団 平塚教会
発行人 平塚教会
編集人 中山洋司
〒254-0045 平塚市見附町6-18
電話 〇四六三(32)八八三一



信仰のための「信仰の交わり」

平塚教会牧師 北川 一明

二人または三人がわたしの名によって集まるところには、わたしもその中にあるのである。

(マタイによる福音書18:20)

信仰とは、人を大らかにするものです。

もつとも信仰は人を真面目に、正直に、誠実にします。ですからルーズにはなりません。むしろ逆に、重箱の隅をつつくように、何でも細かく考えるようになるはずで

す。重箱の隅をつつきつても大らかであるのは、隅をつつくのが批判し裁くためではないからです。隅をついて新しい発見をし、小さなことを大いに喜び楽しむのが本来です。

第三者がかかわってくると、大らかに楽しんではいられなくなる場合があります。

婦人会、青年会の会長と副会長は、誰かの思い通りにすると他が傷つくと思うと、その誰かを野放しにはできません。「こうあるべきだ」と言いたくなります。教会学校の教師は生徒に被害が及ぶと思うと、やはり「〇〇

すべき」が出てきます。

役員、長老になると更に深刻です。役員会の扱う事柄は教会全体の存続にかかわります。真剣に考えれば、なかなか大らかに構えてはいられません。

大らかになるためには、二つの道があります。一つは真面目さ誠実さを捨ててルーズになることです。その結果、信仰は失われて行きます。

大らかになるもう一つの道は、真面目に誠実に考え抜くことです。

誰かの主張や振る舞いが悪いものと感じられた時、相手から悪が出てくる(と自分には思える)大元の理由を、徹底的に考えます。すると理解や共感が生まれ、信頼関係が出来てくる場合があります。

己の不明を恥じるほどに誰かを信頼出来るようになるのは大きな喜びです。

あらゆることに常に重箱の隅をつつく時間はありません。そこで、重箱ごとの重要性について、優先順位をつけることも大事です。

また、自分が全ての重箱の隅をつつくのは無理です。信仰の兄弟姉妹を信頼して、つづく重箱を分担する必要もあります。

会員同士の信頼関係が出来ていないと、任せることができません。信頼なしに真面目かつ誠実になると、全て

目次

信仰のための「信仰の交わり」
北川一明牧師… 1

教会ニュース
一枚のはがき 芦村貴美子… 3

5分間研修より
礼拝で歌うことの意味(12月) … 3

今幼稚園ができることは何ですか?
関口華子… 4

編集後祈 … 4

に首を突っ込み口を出すことになります。不愉快な組織になります。

メソジスト教会は「組会」を特徴の一つにしています。組会とは地域を区切った集会です。平塚教会では、かつて開かれていた「地域集会」が組会に当たります。

組会では、信仰の話しを少人数でします。そこで新しい発見がありました。相互の信頼も深まりました。

ライフ・スタイルの変化から、日本じゅうで組会が失われて行っています。信仰の話しをする機会も減りました。信徒同士の信頼関係も築きにくくなりました。教会にとっても信徒個人にとっても、信仰上の大きな痛手です。

では地域集会を再開すれば良いかと言えば、そうはいきません。ライフ・スタイルの変化を無視して再開しても、効果よりも負担がまさって続きません。

コロナ禍で大人数の集会が出来ない中、みなさんは「信仰の交わり」を続ける機会を持っているでしょうか。

『キリスト者は孤立しては存在し得ません。他の信徒と信仰を深め合うことで信仰は生活の基盤となり、新たな隣人を福音に招くことにもつながります。信仰的な交わりの場や組織の形成を促すことを牧会方針とします』と、昨二〇一九年度は教会の牧会方針を決めました。

この方針に対して、実際の活動は、どうで

したでしょうか。会員個々には、信仰的な交わりの場を形成、強化する意識を持って教会生活を送ってくださったかたも多くありました。しかし役員会では『教会全体では十分な信仰の交わりが持てたとは言いがたい残念な結果でした』と振り返っています。

教会内外の環境や条件は大きく変化しています。そうした『環境変化の影響を想定しておらず無策だったことが反省材料』と考えたのです。

そんな中でコロナ危機が起きました。教会に集まるのが、一定期間出来なくなりました。信仰の失われるリスクが増えました。

教会に来なくても信仰を保つ工夫を模索せざるを得なくなりました。

もつとも世は高齢化社会です。全国に、独力では教会に来ることの出来ないクリスチャンが大勢あるのは、コロナ前から同じです。

これまでは、どの教会も「主日礼拝は信仰の基本中の基本」と言い続けてきました。確かに基本です。ただ基本はおさえた上で「在宅で信仰を保つための制度を早急に考えるべし」と、神さまがお示しになったのがコロナかもしれません。

難しいのは、信仰を保つために信仰の交わりが必要であるということです。

教会機関誌などの文字媒体は、信仰を保つツールです。ただ一方向のコミュニケーションです。信仰の「交わり」に十分とは言えま

せん。
電話は双方向ですが、個人的な関係が成立した上でないと「信仰の」交わりにはなりません。

インターネットは、複数間のコミュニケーションも可能になりました。しかしハード環境の整備も出来ていませんし、各信徒の操作技術も、なかなか追いつきません。

ともかく、何らかの形で人間関係の形成を回復させる必要があります。

私が教会と出会った頃は、よく「教会は仲良しサークルではない」と言われていました。当時は多くの交わりの機会がありました。そうした場を、より信仰的なものにしようという意図からです。

今は、そもそも交わりの場が激減しています。「仲良し」がなければ仲良しサークルを心配することさえ出来ません。

抜本的な対策も考えなければなりません。が、今、当面できることもあります。

各奉仕グループ、エイジグループ等の各会は、多くが教会予算を活用し切れていませんでした。有効に活用してください。新しいグループを作ること、教会として応援して行きたいです。

「仲良しサークル」に眉をひそめた昔が懐かしいです。みなさん、信仰の交わりを取り戻して、牧師が「仲良しサークルではないけい」と小言を言う機会を、私にも与えてください。

五分間研修より

Ⅱ 礼拝で歌うことの意味（12月）Ⅱ

クリスマス諸行事で教会の伝統に反して
いた可能性のあることがいくつかあります。

まず燭火礼拝の奉唱をカミューミックスの
お二人にしてもらいました。メソジストでは
そんなにうるさく言いませんが、長老派の教
会では「奉唱はおかしいのではないか」。カ
トリックは一部のプロの方に歌わせただけ
も、そんなにプロとアマチュアの差はある
はずがない。世の中は平等なのだからプロテ
スタントでは皆が一緒に歌うべきだというの
が宗教改革の時に強く言われたことがあり
ます。一部の人が歌うのはプロテスタント教
会としては、おかしいのではないかという意
見（伝統）もあります。

それからもう一つ大きなこととしては、未
信者（例えば洗礼を受けていない人）には奏
楽をさせないのが教会としては普通です。同
じように、洗礼を受けていないのに神様に歌
を捧げることはできないであろうという考え
があります。それは奉唱がいけないというよ
りはもうちょっと一般的です。

具体的に言えば、聖歌隊の中にクリスチャ
ンでない人も入っています。燭火礼拝では礼
拝といながらカミューミックスに歌っても
らい、ハンドベルもお母様方（幼稚園）で洗

礼を受けていないのにやりました。それでい
いのかどうか。奉納物その他提供物の質とい
うこともカトリックの伝統からいったらいろ
いろ問題がありますが、わかってやりまし
た。わかってやってやったのは、皆さんで考
えていただきました。

教会で歌うことの意味は何でしょうか。20
世紀までの伝統では、教会派は未信者には歌
わせないとやっていました。それに対し
て20世紀になりますと、伝統に対する挑戦と
して社会派が、差別なく歌うべきだと未信者
にも歌わせようとしました。その結果どう
なったかというところも伝道に失敗してい
ます。どっちもうまくいきませんでした。多
分教会派は形だけ一生懸命に伝統を守り、そ
の中身の精神を守っていなかったのです。そ
れに対して社会派は、形を守られてきた意味
を考えずに形を壊したのです。どっちにも
思った通りにはいきませんでした。ところが
我々がやってみた結果、うまくいったところ
とそうでないところがあります。

男性声楽家のEさんがクリスマスコンサ
ートで歌ってくださった「本当に教会で歌う
という本来の形にできてよかった」というこ
を言っておりました。それはただのリップ
サービスかなと思っておりましたが、その後
カンナ・ユミさんのお二人は「めっちゃくちゃ
緊張した。自分達は今までは歌を提供して
お客さんを喜ばせればよいということをや
っていた。でもこれは違う。皆さんが礼拝を捧

ることに自分達も奉仕しなければいけない。
それが十分にできたかというところ非常に残念な
結果だった。リベンジさせてもらえるのだつ
たら考えを変えて（実は今回は夏から準備し
ていたのです）、来年は皆さんが礼拝を捧げ
やすいように、どうやったらいいのかを最初
からもっと考えて挑戦させてもらいたいから、
出来たら来年もやらせてもらいたい。」
ということをおっしゃっていただきました。

ちよつと『未信者に奉仕させるという乱暴
な』といわれることをしたかもしれない
が、少なくとも少しは方向性が見えてきたの
かなと思っております。

教会ニュース

一枚のはがき

緊急事態宣言下で、WEB礼拝を守って
らっしゃる教会員の芦村貴美子姉より、礼拝
を維持するために奉仕している牧師・役員・
奏楽者に、感謝のお便りが届きました。感謝

主のみ名を崇めまつります。

お祈りと様々なご配慮に深く感謝申し上げ
ます。インターネット配信を頂いて、おかげ
さまでご一緒に礼拝を捧げさせていただいて
います。

先生・役員の皆様・奏楽ご奉仕の諸姉様本
当にありがとうございます。皆様の上に主の

お護りと愈々御祝福を信じつつお祈りさせていただきます。

この時は、より深く、み心に聴き自身を省みる時となりました。皆で真実に主に立ち帰れますように、感謝とお祈りを添えて

芦村 貴美子

今幼稚園ができることは何ですか？

関口 華子

二葉幼稚園は今年で九十六周年を迎えましたが、休園中の創立記念日となってしまいました。職員のみで礼拝を行い、二葉幼稚園のキリスト教育についてのお話して、改めて心を一つにすることができました。

入園式以来の休園。幼稚園ではどんなことができるだろうと毎日祈って、職員一同で考えています。

進級式はできませんでしたが、在園生は四月八日に新しいバッチをもらい、新しい保育室に足を踏み入れ、ほんのひと時進級の喜びを味わいました。

翌四月九日の入園式は保護者の方一名のみ、在園生無しの入園式を行いました。緊張した面持ちながらも職員の手遊びには笑顔も見せてくれました。

休園期間中、在園生には幼稚園のことを憶えてもらおう！また新入園の子ども達に

は先生達の顔を憶えてもらおうと思ひ、様々な動画を配信しています。今ネット上には様々な動画が出回っていますが、やはり好きな先生が登場すると格別の喜びがあるようです。

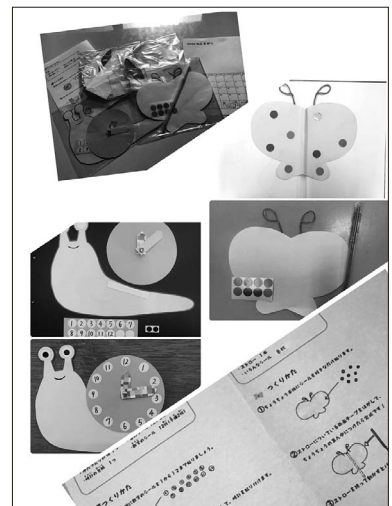
クラスで読む予定だった絵本の読み聞かせや歌（著作権を侵害しないように限定配信としています）、遊具や玩具の紹介、きれいな春の花壇の紹介、簡単な体操や絵描き歌、パネルシアター、園長先生のオリジナル聖書アニメーションなど、画面の向こう側の子どもの顔を想像しながら、とにかく楽しく！幼稚園の楽しさが伝わることを一番のねらいとして配信しています。

話題の会議ツールZOOMを使ったオンライン礼拝も始めました。パソコン・スマホの画面上で友だちや担任の顔を見ながら礼拝と朝の会を行っています。

今月に入ってから、「母の日のプレゼント・キット」や絵本に関するなどなどを手作りし、「おうちでお祈りしてみよう！」のプリントと共に配布しています。

「友だちへのメッセージを描いてください」と官製葉書を同封すると、たくさん葉書が返ってきました。集まったものを、またYouTubeで配信する予定です。友だちの存在を感じられるといいなと思っています。

特に年長児にとっては一日一日が「幼稚園最後」で課題は山積みですが、神さまに祈るのみです。



幼稚園体験キット(未就学園児級)



母の日プレゼントキット

編集後祈

緊急事態宣言下、ご家庭での礼拝はいかがでしょうか。お一人お一人の祈りと信仰が、主に届き祝福されますようにと祈っております。

編集子